

「親育」スケジュール

子ミュカゼミナールは、当面【オンラインライブ】で開催いたします。「親育アンケート」にご回答頂くことを条件に受講料が無料になります。(zoom cloud meetingを使います)

- ・9月18日(土)14:00~15:00 第73回「子どもの権利」を親育白書から考える 代表理事 黒田 忠晃
- ・10月16日(土)15:00~16:00 第74回「教えない教育って？」家庭教育で必要なこと 副代表理事 山上 敏樹

11月3日(水祝) 6周年記念イベント

今年で法人設立して6年になります。これを記念して、映画「子どもは風をえがく」上映と、「親育白書」のお披露目を行い、これからの子育てや教育について考えて参ります。

- ・日時 11月3日(水祝)13:00~16:20
- ・会場 ウィルあいち セミナールーム1・2 or オンライン
愛知県名古屋市中区上三軒町1 (愛知県女性総合センター)
- ・参加費 一般:(大人)2,000円、(高校生以下)1,500円、(未就学児)0円
利用会員:1,500円、正会員/賛助会員:1,000円
※詳しくは「NPO法人親育ネットワーク」HPをチェック!



親の育ちの重要性を発信するために「親育白書」を作りたく
クラウドファンディングにChallenge中! READYFORサイトへ



親育メンバー募集中

「親育メンバー」を随時募集しております。3種類の会員制度がございます。お申込は、HPからどうぞ。(講座受講で入会金免除、入会月で会費が異なります)

- ▼正会員 一緒に活動して、盛り上げていきたい。
入会金:10,000円 年会費:12,000円(月1,000円)
- ▼利用会員 イベントや講座に参加したい。
入会金:1,000円 年会費:6,000円(月500円)
- ▼賛助会員 私たちを応援したい。
入会金:10,000円 年会費:12,000円(月1,000円)

私達が正会員メンバーです(50音順、令和3年9月1日現在。メンバーの紹介はHPにて)

代表理事) 黒田 忠晃 副代表理事) 山上 敏樹 理事) 横山 美八子 監事) 岩附 あずさ
正会員) 阿部 ゆり 岩淵 賢次 岩淵 優子 太田 秀樹 久野 由詠 谷川 未左子 平野 弘子
眞柄 文子 松本 紀子 村野 政章 山本 百百代

NPO法人
親育
ネットワーク
「親育」を通じて、未来ある社会を

〒470-0122
愛知県日進市蟹甲町中島277-1 (にぎわい交流館内)
電話: 0561-76-3475 (La C Lo内)
E-Mail: oyaiku.network@gmail.com
HP: 「親育ネットワーク」で検索
http://www.oyaiku-net.org/



NPO法人親育ネットワーク

おやいく通信

令和3年9月
第11号

9月7日(火)クラウドファンディングP始動!

○私たちの思い



私たちは、保護者や子どもに関する大人を対象に、新しい時代の価値観や子育てに関する知識や情報を発信する「親育」を行う個人や団体を繋ぐために、2015年にNPO法人を設立しました。

生きる目的を見いだせず、幸福感を感じられない人、学校の成績=その人の価値としている狭い視点を持っている人が多い日本社会。親世代は、

時代の流れをとらえられず、旧態依然の価値観に縛られ、それを子どもに押しつけている。そして、その子は、親の鏡のごとく、成績、友人関係などにがんじがらめになり、ストレスを感じ、自分に自信がないといった現状があります。

その原因の一つは、親自身が旧来の価値観(いい学校、いい会社に入れば一生安泰)の中でしか生きておらず、その価値観を変えることに不安を感じ、たこつぼにはまっているからだ私たちは考えています。親自身がストレス社会に身を置き、輝いて生きていないため、子どもに在り方で示せていません。

これらの現状を打破し、これからの時代は親と子がともに認め合い、幸福感を感じながら、笑顔で生活している社会が求められるのではないかと思います。

親世代は、昔ながらの価値観(いい学校・いい会社に就職)を変え、自らも輝くと共に、子どもを純粋な愛で、認め、寄り添う。子どもたちは、自分を認め、自分に自信を持ち、心から頼れる仲間と囲まれ、日々ワクワク感を持って生活をする・・・このような社会を目指しませんか?そして、そういった社会が実現することにより、将来の日本を支える素晴らしい人材が育っていくのではないのでしょうか。

このような考えを発信している個人や団体は存在していますが、それぞれがそれぞれの活動を行うだけでは、規模が小さく伝えられる範囲は狭いのが現状です。同じような考え方を持つ者同士が集まり、その考えをより多くの方々に発信するために活動を続けてきました。



○なぜ「親育研究会」を立ち上げたか？

常に「親育」の必要性を感じながら、親育ネットワークの活動を進める内に、



「まずは親が変わらないとね」
「親育って大事だよな」

というお声をたくさん頂くようになりました。感覚的に「親育」の意義や必要性を感じてくださっている方が多いのですが、数値として見える形、すなわち、定量化されていないのが現実です。

私たちはこれまでに、「子ミュカゼミナール」と題して、子育てに関する講座の開催や、親子で学ぶ機会を作ったり、年3回発行している「おやいく通信」にて、情報を提供したりして参りました。

しかし、より広く「親育」の意義や必要性を社会認知させるためには、それらを定量化して、発信していくことが必要であると考え、2019年6月に「親育研究会」を発足し、子育てに関する課題、親子の心の課題、社会課題等々を話し合いながら、より多くの声を集めるためのアンケートを作成しました。

○プロジェクト内容と今後について

今回のプロジェクトでは、NPO法人親育ネットワークが実施した「親育に関するアンケート」をまとめて「親育白書2021」を1000部発行したいと考えています。

子育てをしている方、子育てを終えた方を中心に、子どものいない方も含めて400人程度の方にアンケートにご参加いただきました。

親育の必要性だけでなく、自身の子ども時代を振り返る項目、社会への要望、子育ての理想と現実や子育て環境について感じていること、コロナが子育て環境に変化を与えたか、など、多数の切り口から調査しました。

アンケートの回答をいただく中で、

「自分の子育ての振り返りになった」
「子育て真っ最中の人にはぜひ答えてもらいたい」
「とてもいい内容なので、他の人にも広めたい」
「他の人がどのような回答をしたのを知りたい」

と予想外の嬉しいお言葉を頂きました。

「親の育ちの重要性を発信するために「親育白書」を作りたい」



親育白書の発行のために、アンケート結果を白書にまとめたい。そうして出来上がった親育白書の内容を広く知ってほしい。

今まで親の在り方に重きを置いた調査はあまりありませんでした。今の子育てに携わる人に求められているものを明確にし、子育てに悩む人の困りごとを解決する新しいアイデアに繋げる白書にしたいと思っています。

親育白書をきっかけに子育てに不安を抱える人、悩んでいる人を一人でも多く救うシステムが作られ、親育の重要性が社会に認知されることを目指します。

そのためには、今まで行ってきた会員の皆様の御縁ある方を中心に広めることだけでなく、今まで御縁のなかった方にも、親育の重要性知って頂くこと、全国各地に親育の仲間を増やすことが重要だと思っています。

そこでいろいろと検討した結果、社会貢献に関心の高い方が集まるクラウドファンディングであれば、上記目的が達成できるという結論に至り、今回チャレンジをすることにいたしました。

ぜひ、クラウドファンディングのサイトをご覧ください、ご支援くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年9月7日
NPO法人親育ネットワーク
親育研究会メンバー



親の育ちの重要性を発信するために
「親育白書」を作りたい

READYFORサイトへ



子ミュカゼミナールOnlineレポート

○6月「コロナ禍の時代、オンラインやsnsをどのように活用するか？」

コロナの影響で、これまでアタリマエにできたことがアタリマエではなくなりました。コウチョウも最初は戸惑うことがあったのですが、様々なチャレンジを1年間でやり、オンラインをフル活用して、取り組んでいることを共有していただきました。結果、枠が広がり、新しい繋がりもたくさん生まれたということでした。できない理由ではなく、「How」の思考が大切ですね。



○7月「自分に優しくなれる こどもに優しくなれる お母さん心理学」

子どもの才能を伸ばすコツを脳科学の観点からお伝えいただきました。親や周りの、子どもに与える影響などについても検証していただきました。講座に向き合う中で、自分自身が育ってきた過程を振り返る機会にもなり、現在の自分を俯瞰して頂く機会にもなりました。親や周りの人の在り方が問われますね。より自分に優しく、お子さんに優しくなれるキッカケをたくさん学ぶことができました。



○8月「ありのままの自分を磨く、生命(こころ)の質問」

仏法哲学に基づいて、自分自身の生命(こころ)と向き合う時間となりました。普段生きていくと様々な感情が湧き起こってきます。悪い感情が起こってくることも当然ありますが、そこに罪悪感を覚えるのではなく「それもOK!」と捉えて、そこからどう変えていけるかが大切です。自分を信じて、感謝の気持ちを大切にしながら、自分の生命と向き合い、想いと向き合いながら心を整えて日々生きていきたいものです。

